

平和・くらし まもる政治へ

憲法守れの
うねり大きく

イラク派兵やめよ 国民生活優先の予算を



ピースウォークの先頭に立つ大門参院議員（手前右）= 12月7日、高崎市

入で新たな軍拡に踏み出す中身となりました。他方、小泉「改革」による景気悪化と大企業減税で税収が低迷し、国債の新規発行が過去最高になるなど、財政破綻は一段と深刻になっていきます。

いま必要なのは、財界・大企業本位の予算ではなく、国民の暮らし応援を最優先する予算です。日本共産党は、一月から始まる通常国会も、国民本位の予算編成を強く求めます。

小泉内閣は十二月、イラクへの自衛隊派兵を強行。先遣隊がイラクに出発しました。自衛隊の派兵は、憲法だけでなく、政府自らつくった『イラク特措法』にも反する「戦場」での占領軍支援そのものです。「復興支援」と言うなら米英軍主導の占領支配を終わらせ、イラク国民の主権を早期に回復し、国連の枠組みでの復興支援に切り替えることです。

来年度の予算案は、大規模な国民負担と給付削減へのスタートを切るとともに、「ミサイル防衛」の導



イラク派兵反対の署名宣伝をおこなう塩川衆院議員（正面左）= 12月22日、水戸市

足利銀行破たんから中小企業を守れ 現地を調査、政府に対策迫る

政府は十一月二十九日、栃木県の地域経済を支える足利銀行を破たんさせ、一時国有化しました。県内最大の金融機関の破たんだけに、県民は衝撃を受けています。融資先の中小企業が不良債権として整理される深刻な事態が予想されます。

十二月三日、大門参院議員と塩川衆院議員は足利銀行本店で「あしぎんフィナンシャルグループ」の田村常務から、監査法人が三月決算では認められた繰り延べ税金資産の計上を、九月決算では一切認めないと、方針を急変させた経過などを聞きました。

また、五日には、大門議員が参議院財政金融委員会



田村常務（右）と懇談する（その左へ）大門参院議員、塩川衆院議員、野村党県足銀破たん問題対策本部長= 12月3日、宇都宮市・足利銀行本店



足銀破たんを追求する大門参院議員 = 12月5日、参院財政金融委員会

会で質問にたち、地域経済に大きな影響力を持つ銀行を破綻に追い込んだ国の責任を問う一方、地元中小企業の再生を目指して栃木県が計画している「再生ファンド（基金）」に国が関与するよう求めました。

さらに十二月十日から十二日にかけて大門・塩川議員らが鬼怒川、日光、那須など観光地の実情を掌握するために現地調査。二十五日には、金融庁、中小企業庁、財務省に対して、足利銀行の取引先や出資者、地域経済への対策を要請。政府は、栃木県中小企業再生支援協議会の増員や政策投資銀行の活用が可能であるとの見解を示しました。

北関東四県で発表された参議院選挙の予定候補を紹介します

比例代表選挙は 日本共産党または候補者名で

大門みきし（現）



活動地域は、北関東（茨城・群馬・埼玉・栃木）と東北、北海道です。

茨城県

田谷たけお（新）



群馬県

小笠原しんめい（新）



埼玉県

あべ幸代（前）



栃木県

野村せつ子（新）



選挙区選挙は「候補者名」で



北関東でも「脱ダム」の流れ

栃木県の東大芦川ダムの中止表明（七月）に続き、群馬県の戸倉ダムの中止決定（十二月）、倉渕ダムの凍結表明など、北関東地域でも脱ダムの流れが広がっています。建設中のダム事業の中止は国や公団直轄事業では、戸倉ダムが初めてとなります。これらのダムは、治水面での過大

な洪水被害想定、利水上も過大な人口予測や相次ぐ工場撤退による水受給見通しの下方修正に加え、深刻な財政難の自治体にとって建設費が当初の二倍以上になることも、今回の見直しの背景にあります。日本共産党は、現地で住民の皆さんからの聞き取り調査を重ね、国会

や地方議会でも「過大な計画を見直し、莫大な浪費は中止を」と追及してきました。

北関東地域では、群馬県の八ッ場（やんば）ダムや栃木県の湯西川ダムで、総事業費が倍増となる計画変更が相次いでおこなわれています。日本共産党は、水道料金への転嫁や自治体負担増などの問題でも、引き続き追求します。

「児童虐待」どう防ぐ

児童相談所などを訪問・懇談

日本共産党の党大会決議案では、社会の道義的危機を克服するための国民的な対話と運動を呼びかけています。とくに子どもたちの健全な成長を保障するとり組みを重要な内容の一つに位置づけています。

その中で児童虐待の問題について、塩川議員らは九月二十九日と十月一日、埼玉県と群馬県で児童相談所や福祉事務所を訪れ懇談しました。

塩川議員は、日本共産党の「社会の道義的危機を克服する国民的対話と運動を」の呼びかけを手渡し、「児童虐待に直接向かい合っている



懇談する塩川議員（右から2人目）と森原国際局長（その左）ら＝9月29日、埼玉・所沢児童相談所

みなさんの声や実態を聞きたい」とあいさつし、深刻な実態や要望などを聞きました。

ブリヂストン工場の火災

利益最優先の姿勢を指摘

日本を代表する企業の工場で爆発や火災など大事故が相次ぐ中、栃木県黒磯市にある「ブリヂストン栃木工場」で大規模な火災が九月八日に発生。激しい爆発と黒煙で周辺住民五千人に避難指示が出されました。

塩川議員は十日午後、消化剤などの散乱する工場内に入り、火災の原因や背景などを調査し、近隣住民から要望などを聞きました。

十月七日には塩川議員が、栃木労働局を訪れ、下矢雅美局長と対応などについて意見交換しました。

ブリヂストンでは四十五歳になると早期退職勧奨がすすめられ、十年以上にわたって新規採用がありませんでした。不足した労働力を派遣労働者で補うというブリヂストンの利益優先の姿勢を塩川議員は指摘しました。

多発する大企業の事故について、



倉渕ダム予定地で当局の説明を受ける大門議員（右から2人目）と塩川議員（その左）ら＝9月8日、群馬・倉渕村

一般マスコミも「安全までリストラしていないか」（「読売」九月十日付社説）と書き、経団連の奥田会長も「熟練工が現場からいなくなつて技能がおろそかになり、事故につながっている」と言わざるを得ない事態が起きています。



ブリヂストン栃木工場を調査する塩川議員（左から三人目）ら＝栃木・黒磯市

養殖業者への国の助成が実現 現地調査し、政府へ申し入れ

浦死大量
養殖業者への国の助成が実現

茨城県の霞ヶ浦などで養殖コイが、コイヘルペスウイルス（KHV）に感染して大量に死んだ問題で、塩川衆院議員・大門参院議員らは十一月十三日、現場を視察するとともに、関係者から話を聞きました。

霞ヶ浦漁協連合会の羽生誠副会長は「このままでは霞ヶ浦の水産業は成り立たなくなってしまう」と述べ

ました。

十一月二十七日には、党茨城県委員会代表らとともに被害救済と原因究明などを政府に申し入れました。農水省は、補償問題について「折衝中」であることを表明。

生き残ったコイの買い上げが実現しましたが、さらに実情にあった救済に全力をあげています。



県内水面水産試験場で説明を受ける（正面左から）塩川議員と大門議員ら＝11月13日、茨城・玉造町

塩川大門の活動スナップ



総選挙後の特別国会初登院で国会職員から議員バッジを付けてもらう塩川議員（左）＝11月19日、衆議院

イラク派兵を強行するなどと訴える（左から）森原、塩川、小笠原の各氏＝11月23日、群馬・高崎市



埼玉・南部地区委員会の党会議であいさつする大門議員＝12月14日

演説会参加者の激励に応える大門議員（左から2人目）＝12月19日、茨城・東海村



足利銀行の破たん問題で中小企業庁長官に申し入れる大門議員（左）と塩川議員（右）ら＝12月25日

新井正則衆院議員の買収容疑逮捕で「直ちに辞職を」と訴える塩川議員ら＝12月29日、埼玉・所沢市

